

(一七〇〇)

三三 元禄十三年十二月 利根川通り前島河岸より足尾銅江戸

積み覚〔A〕

覚

一棹さお御銅老万三千八百式拾四貫目 このこすう此固数千式拾四箱

一瓦かわら御銅四万七千四百七拾九貫七百目 此固数千五百式固

一丁てい御銅老万八千九百七拾六貫百目 此固数千三百七拾七固

一鉞びよう御銅千九百七拾九貫四百目 此固数百三拾七固

御銅合八万式千式百五拾九貫式百目

右之通みぎのとおり、足尾御銅辰二月ふ同十二月迄「老年分、上州前島川岸かし御

藏くらと江戸浅草」御藏江積廻つしまわし相納あいおさまめし申候、以上

元禄拾三年辰十二月

亀岡村

高木源内印

池田新兵衛様御内

海治 儀太夫殿

前書之通まえがきのとおり、銅八万式千式百五拾九貫式百目、浅草御藏へ納おさめし申所、  
仍よつてくだんのごとし如レ海治 儀太夫印

巳五月

海治 儀太夫印

前島村御藏番

源内殿